

分野	授業教目名	単元名	単位数	時間数	履修時期	担当教師
統合分野	看護統合演習	統合演習	1	15/30	3年次後期	嶋田 佐和子 他専任教師

テキスト(発行所)	演習前に資料を配布予定
テキスト以外の教材、参考図書	なし

学習のねらい	<p>複数の患者に対して、必要な援助内容・実施内容(準備から片付けまで、情報収集・報告など具体的な動き)をイメージでき、一日の行動計画を立案する中で、次の視点を身につける。</p> <p>①時間観念の意識 ②患者の優先順位 ③安全・安楽 ④アセスメント ⑤自己課題の明確化</p>
学習目標	<p>1. 多重課題に対して起こり得ることを予測した援助方法が判断できる。</p> <p>2. 対象に必要な援助の優先順位を状況に応じて決定および修正ができ、行動計画が立案できる。</p> <p>3. 状況に応じた対処方法について、自己課題を明確にできる。</p>

#### 学習スケジュール

回数	主題	学習内容	履修形態 他
1回 (8時間)	<p>1. 統合演習の方法について説明</p> <p>2. 個人ワークとグループワーク</p> <p>3. 発表</p>	<p>1. 複数の受け持ち患者に対する1日のタイムテーブル作成</p> <p>2. 発表</p>	<p>個人ワーク</p> <p>・グループワーク</p> <p>発表</p>
2回 (7時間)	<p>1. 割り込み状況内容の説明と演習方法</p> <p>2. 個人ワークとグループワーク</p> <p>3. 発表</p>	<p>1. 第1回に作成したタイムテーブルに割り込み状況が発生した場合の対処方法</p> <p>2. 発表</p>	<p>個人ワーク</p> <p>・グループワーク</p> <p>発表</p>

単位認定の方法	<p>1. 看護研究および統合演習の30時間のうち、24時間以上の出席があること。</p> <p>2. 第1回、2回演習参加後の学びをレポートする。(50点満点)</p> <p>3. 看護研究論文50点満点と合わせて60点以上で合格とする。</p> <p>4. 上記の条件を満たしたものは看護統合演習の単位を1単位取得できる。</p>
受講上のアドバイス	<p>もうすぐ、看護師として働く皆さんへ。これまでの講義や実習、学習で培った力に合わせて、チームで協働して働くとはどういうことか、時間や様々な制約のなかで、患者の安全と安楽、自立を基盤に、大切にしたい看護を行動に示していくとはどういうことか、働くことのイメージや課題について演習を通して学びます。教える人は教師ではありません。3年間で看護の実力を身につけてきた皆さん同士で学びあいます。看護で働くことへの戸惑いが少しでも軽減し、将来働く自分の姿や目標が見つけれられることをめざします。</p>